

第372回 所長会議議事要旨

日 時 令和8年5月26日（火）13:30～14:20

場 所 管理棟大会議室 + ウェブ（Teams）併用

出席者

【構成員】 浅井機構長、足立理事、小谷理事、花垣理事、道園理事、齊藤素粒子原子核研究所長、船守物質構造科学研究所長、小関加速器研究施設長、波戸共通基盤研究施設長、小林 J-PARC センター長（東海キャンパス所長）、東量子場計測システム国際拠点長

【オブザーバー】 三明監事、白木澤監事

【管理局等】 櫻井総務部長、森安財務部長、岩見究協力部長、山本施設部長、日下田参事役、島根監査室長、枝川総務課長、由井人事担当課長、立田職員担当課長、高橋情報基盤管理課長、佐野財務企画課長、山口研究協力課長、小林連携推進課長、根本共同利用支援課長、三國 QUP 業務推進室長、河西国際企画課長、栃木資産マネジメント課長、井坂整備管理課長、福田東海管理課長

議 事

【1】第371回議事要録の確認について

資料1のとおり承認された。

【2】協議

（1）令和8年度 KEK 技術賞について

道園理事から、資料2に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

（2）令和9年度概算要求について

小谷理事から、資料3に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

（3）「ハイパーカミオカンデ計画」の推進に関する覚書の変更について

花垣理事から、資料4に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

（4）教員公募（素核研・特任助教・Belle）

齊藤所長から、資料5に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

（5）教員公募（物構研・准教授もしくは助教または特別助教1名・放射光一系）

船守所長から、資料6に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

（6）教員公募（加速器・准教授1名・SuperKEKB）

小関施設長から、資料7に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

（7）2026年度第2回短期海外招聘研究員受入計画について（別途配信資料あり）

花垣理事から、資料9に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。また、本制度は KEK-PIP との適合性等を踏まえていることから、機構として受け入れる受入責任者は、研究員ではなく教員とした方がよいのではないかと指摘があり、次回以降は留意する旨の回答がなされた。

（8）教員の特定人事について（物構研・助教1名・放射光実験）

船守所長から、別途配信資料に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

- (9) 特定有期雇用職員の雇用計画について（物構研・特定人事・特別准教授1名・ミュオン）
船守所長から、別途配信資料に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。
- (10) 教員の特定人事について（加速器・助教1名・第二研究系）
小関施設長から、別途配信資料に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。
- (11) J-PARC センターセクションリーダー等候補者の選考について（令和8年7月1日付け人事）
齊藤所長から、別途配信資料に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

【3】報告

- (1) 特例給与の設定について
東拠点長から、別途配信資料に基づき報告があった。
- (2) 筑波大学連携大学院について
花垣理事から、資料10に基づき報告があった。なお、浅井機構長より、今後の対応にあたり本事業への参画を積極的にアドバイズしていくとともに、加速器科学分野の人材育成強化に向け、教員が教育責任を自覚した体制へ見直しを進める必要があること、また、マネジメントとしては、必要な財源確保に努めるとともに、次世代育成へ投資は施設の運転と並んで重要な課題であるとのコメントがなされた。
- (3) 協定等の締結について（国内機関）（資料配布のみ）
資料11は資料配布のみ。

以 上